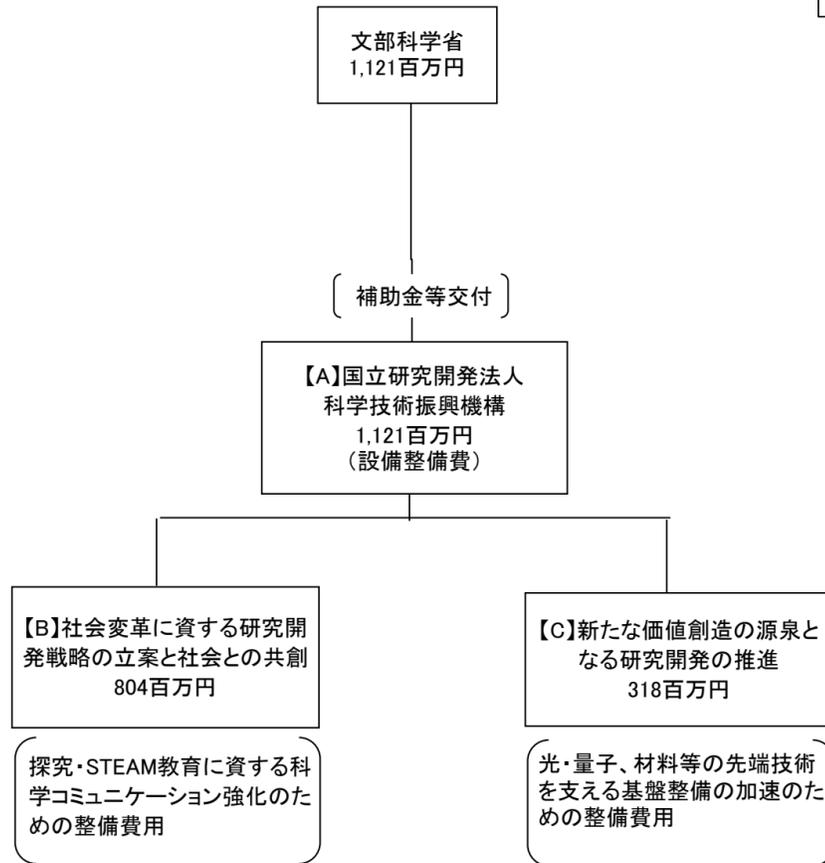


| 令和5年度行政事業レビューシート | | (文部科学省) | | | | | |
|------------------------------------|---|--|----------------|---|--------------------------|------------------|---------|
| 事業名 | 国立研究開発法人科学技術振興機構設備整備費補助 | | 担当部局 | 科学技術・学術政策局 | | | |
| 事業開始年度 | 令和4年度 | 事業終了(予定)年度 | 終了予定なし | 担当課室 | 人材政策課 人材政策課長 生田 知子 | | |
| 会計区分 | 一般会計 | | | | | | |
| 根拠法令 (具体的な 条項も記載) | 国立研究開発法人科学技術振興機構法 | | 関係する 計画、通知等 | 第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 物価高克服・経済再生実現のための総合経済対策(令和4年10月28日) | | | |
| 政策 | 政策目標7 Society 5.0の実現に向けた科学技術・イノベーション政策 | | 主要経費 | 科学技術振興費 | | | |
| 施策 | 施策7-1 価値共創型の新たな産業を創出する基盤となるイノベーション・エコシステムの形成 施策7-2 様々な社会課題を解決するための総合知の活用 | | | | | | |
| 政策体系・評価書URL | https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_7-1.pdf https://www.mext.go.jp/content/20211220-mxt_kanseisk02-000019646_7-2.pdf | | | | | | |
| 事業の目的 (5行程度以内) | 科学技術振興機構(JST)が設置する設備の整備・充実を図るために要する経費を補助することにより、第6期科学技術・イノベーション基本計画に定める事業等の着実な実施を図り、もって科学技術の振興に資することを目的とする。 | | | | | | |
| 現状・課題 (5行程度以内) | 科学技術振興機構は、科学技術の振興を図ることを目的とする国立研究開発法人であり、これまで各期の科学技術基本計画や第6期科学技術・イノベーション基本計画の下、当該計画の中核的な役割を担う機関として、自らの研究開発戦略立案機能を活用しつつ、ファンディングエージェンシー機能を発揮することにより、国立研究開発法人や大学、企業等と協働した研究開発推進体制を構築するネットワーク型研究所として、我が国の研究開発成果の最大化に貢献してきた。国内外における情勢変化等を踏まえつつ、第6期科学技術・イノベーション基本計画に示された「国民の安全と安心を確保する持続可能で強靱な社会への変革」、「知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化」、「一人ひとりの多様な幸せ(well-being)と課題への挑戦を実現する教育・人材育成」に沿った取組が求められる。 | | | | | | |
| 事業概要 (5行程度以内) | 科学技術振興機構に対して、以下の取組を実施するための経費を補助する。【定額補助】 ・探究・STEAM教育に資する科学コミュニケーション強化 ・光・量子、材料等の先端技術を支える基盤整備の加速 | | | | | | |
| 事業概要URL | https://www.jst.go.jp/all/jigyoku/ | | | | | | |
| 実施方法 | 補助 | | | | | | |
| 補助率等 | 定額補助【補助率：100%】 | | | | | | |
| 予算額・ 執行額 (単位:百万円) (インプット) | 予算の 状況 | 当初予算(A) | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | 令和6年度要求 |
| | | 補正予算(B) | - | - | 1,121 | 1,254 | - |
| | | 令和5年度第1次補正予算 | - | - | - | 1,254 | - |
| | | 前年度から繰越し(C) | - | - | - | 1,121 | - |
| | | 翌年度へ繰越し(D) | - | - | ▲ 1,121 | - | - |
| | | 予備費等(E) | - | - | - | - | - |
| | | 計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E) | - | - | - | 2,375 | - |
| | | 執行額(G) | - | - | - | - | - |
| | | 執行率(%) =(G)/(F) | - | - | - | - | - |
| | | 当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)] | - | - | - | - | - |
| | | 令和5・6年度 予算内訳 (単位:百万円) | 歳出予算項・目 | 令和5年度当初予算 | 令和6年度要求 | 主な増減理由(・要望額・予備費) | |
| (項) | 国立研究開発法人科学技術振興機構 施設整備費 | | | ※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。 | | | |
| (目) | 国立研究開発法人科学技術振興機構 設備整備費補助金 | | | | | | |
| 計(A) | - | - | | | | | |

| | | | | | | | | | | |
|---|--|--|------|----|-------|-------|-------|----------------|-------------|--|
| 活動内容① (アクティビティ) | 機構の業務を効果的・効率的に推進するため、施設・設備の改修、更新等を重点的かつ計画的に実施する。 | | | | | | | | | |
| ↓ | | | | | | | | | | |
| 活動目標及び活動実績 ① (アウトプット) | 活動目標 | 活動指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 5年度 活動見込 | 6年度 活動見込 | |
| | 設備の整備・充実を通じた事業の効果的・効率的な推進 | 設備の整備数 | 活動実績 | 件 | - | - | - | - | - | |
| 当初見込み | | | 件 | - | - | 2 | 4 | - | | |
| ↓ | 成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり) | アウトプットで記載した活動目標について、毎年実施する年度評価において、「研究開発成果の最大化」及び「適正、効果的かつ効率的な業務運営」に向けて外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら評価を受け、評価は業務運営上の課題の把握・改善等にも資することから、短期アウトカムとして設定した。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標年度 - 年度 | | |
| | 独立行政法人通則法で定められている 年度評価において標準評価以上を 目指す。 | 評価結果(B評定を標準(所期の目標 を達成していると認められる状態)の 100%とし、A評定を120%、C評定を 80%として記載する) | 成果実績 | % | - | - | - | - | | |
| | | | 目標値 | % | - | - | 100 | - | | |
| 達成度 | | | % | - | - | - | - | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 国立研究開発法人科学技術振興機構の各年度における業務の実績に関する評価 | | | | | | | | | |
| ↓ | 成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり) | 短期アウトカムである年度評価の結果を総合して、中長期目標期間の終了時において、外部委員からの公正で客観的な意見も取り入れながら、「研究開発成果の最大化」及び「適正、効果的かつ効率的な業務運営」のため、中長期目標期間における中長期目標の達成状況について評価されることから、長期アウトカムとして設定した。 | | | | | | | | |
| 成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム) | 成果目標 | 定量的な成果指標 | | 単位 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 目標最終年度 8 年度 | | |
| | 独立行政法人通則法で定められている 中長期目標期間において標準評価以 上を目指す。 | 評価結果(B評定を標準(所期の目標 を達成していると認められる状態)の 100%とし、A評定を120%、C評定を 80%として記載する) | 成果実績 | % | - | - | - | - | | |
| | | | 目標値 | % | - | - | - | 100 | | |
| 達成度 | | | % | - | - | - | - | | | |
| 成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績 | 国立研究開発法人科学技術振興機構の中長期目標期間における業務の実績に関する評価 | | | | | | | | | |
| アウトカム設定について の説明 | アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由 | | | | | | | | | |
| | アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由 | | | | | | | | | |

※令和4年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。
※金額は、単位未満四捨五入して記載していることから合計が一致しない場合がある。

現時点でのイメージ



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位：百万円)

| | | | | | | |
|---|-------|-----------------------------------|-------------|-------|--------------------------------------|-------------|
| 費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者 について記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載) | A. | | | B. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 設備整備費 | 設備備品等 | 1,121 | 設備整備費 | 探究・STEAM教育に資する科学コミュニケーション強化のための設備整備等 | 804 |
| | 計 | | 1,121 | 計 | | 804 |
| | C. | | | D. | | |
| | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) | 費目 | 使途 | 金額 (百万円) |
| | 設備整備費 | 光・量子、材料等の先端技術を支える基盤整備の加速のための設備整備等 | 318 | | | |
| | 計 | | 318 | 計 | | |
| 費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 | | | | | チェック | |

支出先上位10者リスト

A.

| | 支出先 | 法人番号 | 業務概要 | 支出額 (百万円) | 契約方式等 | 入札者数 (応募者数) | 落札率 | 一者応札・一者応募又は 競争性のない随意契約となった 理由及び改善策 (支出額10億円以上) |
|--|------------------|---------------|---------------------------|--------------|--------|----------------|------|---|
| 1 | 国立研究開発法人科学技術振興機構 | 4030005012570 | 社会変革に資する研究開発戦略の立案と社会との共創等 | 1,121 | 補助金等交付 | - | - | |
| 支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載 | | | | | | | チェック | |